

令和5年度 指導普及強化委員会

1 沖縄県バレーボール協会委員会規程指導普及強化委員会にかかる事業等を推進する。

- (1) 指導者の資質向上及び資格認定に係わる事業。
- (2) 国体及びJOC等県代表指導者及び選手選考に係わる業務。
- (3) 国体及びJOC等県代表選手の練習会等の企画及び実施。
- (4) 競技普及の事業。
 - ①講習会等及び事業の企画運営。
 - ②「JVAゴールドプラン」に基づく競技普及に係わる業務。
 - ③小学校におけるソフトバレーボールの指導普及に係わる業務。
- (5) 指導者の招聘及び派遣に係わる業務。
- (6) 技術向上の為の指導法の研究。

2 具体的な方策

- (1) 指導普及に関して、本県のバレーボール競技人口が年々減少している現状に対し、県バレーボール協会と地方協会が連携して、男子小学生競技人口拡大モデル事業を組織的に取り組む。
- (2) 今日のスポーツ界は以前に比べ、低年齢化が進んでいる。他競技では小学校低学年から人材発掘に取り組み、多くの子ども達を育成している。このことから本協会においてもキッズバレーボール準備委員会を設置し、4歳児～小学校3年生までの幼児・児童を対象にバレーボールに親しむ機会を提供し、競技人口の拡大に取り組む。

(3) 各地域において小学生・中学生を指導する資格者の配置を目指して、その育成と資質向上に取り組む。

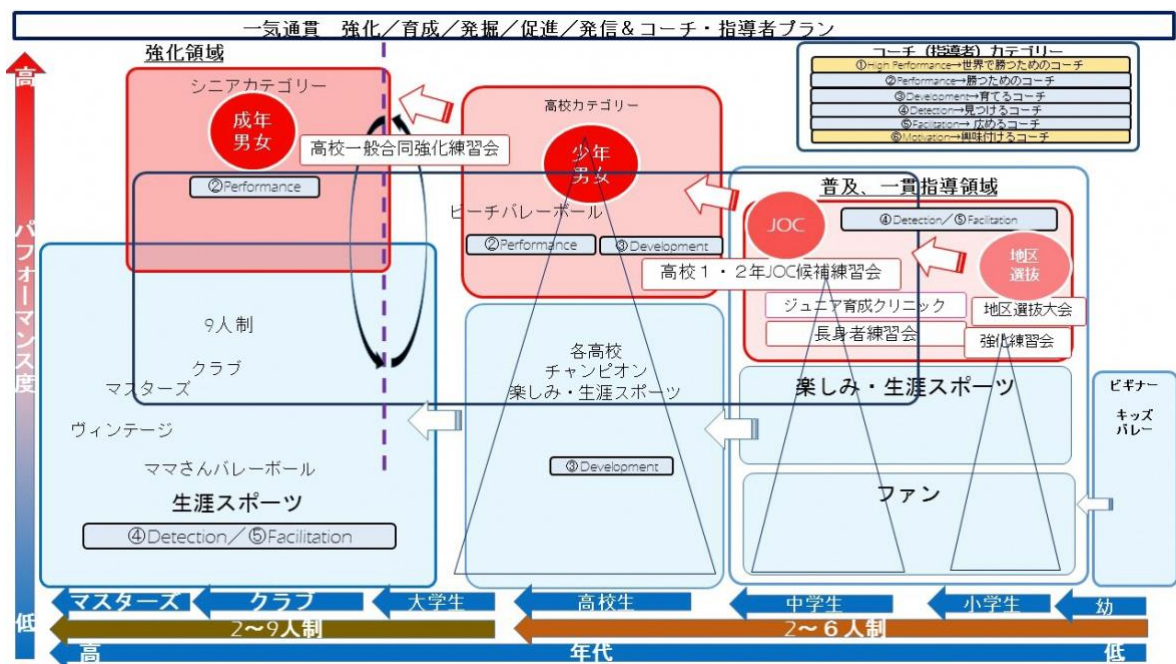
以上のように、本協会では人口拡大や人材発掘、指導者育成と資質向上を両輪と考え、これを推進する。

(4) 強化に関して、中学校ではJOC全国大会で上位入賞を目指す。少年・成年種別では、九州ブロック国体予選大会で2種別以上が突破し、本国体で得点を獲得できるチームを目指し、様々な強化策への取組みを推進する。

(5) (公財) 沖縄県スポーツ協会が事業展開する「令和5年度企画提案型競技力向上対策事業」の推進を図る。

(6) 令和5年度全国高校総体(北海道総体)での上位入賞と併せて、国体少年男女の強化を推進する。

(7) 最重要課題として、各加盟団体の協力のもと、一貫指導体制システムを構築する。



ア 強化事業：小中高大一般連携事業の推進。

イ 指導普及事業：人口拡大計画の推進、指導者育成の推進。

3 具体的努力目標

強化事業

(1) 令和5年度企画提案型競技力向上対策事業として、少年男子・成年男子を重点に強化を図る。

①少年男子

選抜チームを編成し、様々な強化事業に取り組み九州代表権を獲得し、鹿児島国体での上位入賞（ベスト8）を目指し、ビーチバレーボール少年男女種目につ

いても更なる上位入賞を目指す。

②成年男子

ふるさと選手を起用しつつ、県内企業等の協力を得て選抜チームを編成し、九州代表権を獲得する。

(2) JOCの強化

(3) 連携事業

①高校・一般合同練習会（男子）。

②中学（JOC）・高校（一次国体候補）合同練習会（男女）。

③ジュニア育成クリニック（男子）。

④長身者練習会。

⑤国体ビーチ少年の部の強化を図るため、中・高合同強化練習会の実施。

(4) 中学生の発掘

長身者合宿の推薦。

(5) 小学生の発掘

エリートアカデミーへの推薦。

(6) 令和5年度全国高校総体（北海道総体）に向け強化を行い、上位入賞（ベスト

8）を目指す。

指導普及事業

(1) 競技人口拡大

①風船バレー：高校生等の大会において、ブースを設けて活動させる。

②小学生男子バレーボール人口拡大計画モデル事業の実施。

ア 男子小学生バレーボール人口拡大事業を実施する。地方バレーボール協会を

中心にママさん、一般、高校、中学、小学生が連携・協力し、組織的に部員募集

活動を行っていく。

イ 候補地を検討する。

③協会主催（中学・高校）大会へのクラブチームの出場資格付与。

④部員募集用ポスター・チラシの活用。

⑤指導希望者人材バンク：希望チームへの指導者紹介。

⑥有資格者の活用：名簿の作成をして、カテゴリーに分別整理する。

⑦JVAゴールドプランバレーボール教室（小学生）。

⑧U-14大会の実施。

⑨キッズバレーボール準備委員会の設置。

キッズバレーボールの競技人口拡大に向けて、組織的活動の準備を行い、大会

の開催を目指す。

⑩沖縄県ヤングクラブの活用。

(2) 指導者育成

- ①中学校における外部指導者活用ための環境整備。
- ②令和5年度沖縄県スポーツ指導者養成講習会の実施。
- ③都道府県別指導者研修会の実施。
- ④小学生・中学・高校の指導者の有資格者拡大の取り組み

(3) 指導普及強化（小中高大一般）連絡協議会の実施。

(4) 組織力の強化。

- ①効果的な会議の推進。
- ②各加盟団体との連絡体制の強化。
- ③各委員の仕事分担役割の活性化。